

令和4年1月11日

新型コロナウイルスの感染の確認について

昨日（1月10日）は、県内で衛生環境研究所、診療・検査医療機関で合わせて520件程度の検査を実施し、新型コロナウイルスの陽性者が53名確認されました。

※診療・検査医療機関では、1日当たり約200件（直近1週間の平均検査件数）の検査を実施しています。（毎週金曜日に計上し、公表）

なお、変異株PCR検査（L452R）を22件実施し、全て陰性でした。

- ・濃厚接触者及び接触者の検査により判明した陽性者数：33名
（居住地：松山市11名、今治市5名、宇和島市5名、新居浜市3名、西条市7名、西予市1名、松野町1名）
- ・上記以外の検査により新たに判明した陽性者数：20名
（居住地：松山市9名、今治市2名、宇和島市2名、八幡浜市1名、西予市2名、松前町1名、内子町2名、鬼北町1名）

○陽性者の概要

陽性者	年代	性別	居住地	職業
5,590人目	10歳未満	男性：31名 女性：22名	松山市	公務員
	10代		今治市	会社役員
	20代		宇和島市	会社員
	30代		八幡浜市	自営業
	40代		新居浜市	福祉関係
	50代		西条市	未就学児
	60代		西予市	児童・生徒
5,642人目	70代	松前町	学生	
		内子町	教職員	
		松野町	無職	
		鬼北町	調査中	

○症状の有無

あり	45名 ※全て軽症
なし	8名

○感染経路等

家庭内	：8名
学校	：7名
会食	：3名
飲食店	：8名
生活上の接触	：9名
県外	：6名
調査中	：12名

※現段階の調査で感染経路の可能性が推測される場面等

クラスターの状況（陽性者の概要等は上記に含まれる）

事例	新たな陽性者	陽性者の状況
1780 事例目 (新規)	従業員 2 名	飲食店クラスター⑱・宇和島市 累計陽性者 11 名 (+2) (従業員 2 名 (+2)、利用者 4 名、その他家族等 5 名)
1796 事例目	従業員 1 名 利用者 1 名 その他家族等 1 名	飲食店クラスター⑱・宇和島市 累計陽性者 16 名 (+3) (従業員 3 名 (+1)、利用者 8 名 (+1)、その他家族等 5 名 (+1))
1800 事例目	スポーツ活動参加者 2 名	スポーツ活動クラスター②・今治市 累計陽性者 19 名 (+2) (スポーツ活動参加者 15 名 (+2)、その他家族等 4 名)
1828 事例目 (新規)	当該校の生徒 4 名	学校クラスター⑧・松山市 累計陽性者 5 名 (+4) (当該校の生徒 5 名 (+4))

県では、感染症法第 16 条第 1 項の規定に基づき、感染症の予防のための情報の公表を行いますが、同第 2 項により個人情報の保護に留意する必要があります。
報道機関各位におかれては、報道に当たり、プライバシー保護に御配慮ください。

愛媛県内の状況

【R4.1.11 9時現在】

＜封じ込め・終了事例＞

事例	公表日	検査数	陰性	陽性	L452R 陽性(+) 陰性(-)	関係者 調査	PCR 検査	健康 観察
対処事例①:1741事例 ※欠番:30事例		39,806	34,394	5,412		●	●	●

＜困り込み事例＞

対処事例②:4事例		24	17	7		●	●	○
西条保健所:3事例 (1769、1773、1775事例目)		91	85	6		●	●	○

＜調査中事例＞

対処事例③:39事例		205	145	60		○	○	○
★ 1780事例目 【飲食店⑩・宇和島市】	1/7	(35) 105	(33) 94	(2) 11	■	○	○	○
★ 1828事例目 【学校⑥・松山市】	1/10	(51) 52	(47) 47	(4) 5	■	○	○	○
★ 1796事例目 【飲食店⑩・宇和島市】	1/8	(45) 78	(42) 62	(3) 16	■	○	○	○
★ 1800事例目 【スポーツ活動②・今治市】	1/8	(21) 65	(19) 46	(2) 19	■	○	○	○
1788事例目 (西条保健所)	1/7	(25) 34	(22) 25	(3) 9	■	○	○	○
1794事例目 (八幡浜保健所)	1/7	(4) 29	(3) 22	(1) 7	■	○	○	○
1802事例目 (今治保健所)	1/8	(12) 19	(11) 13	(1) 6	■	○	○	○
1817事例目 (西条保健所)	1/9	(7) 8	(3) 3	(4) 5	■	○	○	○
1818事例目 (松山市保健所)	1/9	(20) 21	(18) 18	(2) 3	■	○	○	○
1822事例目 (今治保健所)	1/9	(4) 16	(2) 10	(2) 6	■	○	○	○
1827事例目 (宇和島保健所)	1/9	(4) 5	(3) 3	(1) 2	■	○	○	○
1832事例目 (松山市保健所)	1/10	(7) 8	(6) 6	(1) 2	■	○	○	○
1834事例目 (中予保健所)	1/10	(3) 4	(2) 2	(1) 2	■	○	○	○
1837事例目 (松山市保健所)	1/10	(4) 5	(1) 1	(3) 4	■	○	○	○
1842事例目 (西条保健所)	1/10	(3) 6	0	(3) 6	■	○	○	○
16事例 (1770、1779、1787、 1795、1797、1810、 1811、1813、1825、 1826、1830、1831、 1833、1836、1843、 1844事例目)		(50) 158	(50) 133			○	○	○
1事例 (1838事例目)		1	0	1	■	○	○	○
新規計	1/11	(20) 20	0	(20) 20		○	○	○
上記 以外	PCR検査	(3) 71,475	(3) 71,475			-	-	-
	抗原検査	65,333	65,333					
合計		(318) 177,568	(265) 171,934	(53) 5,634				27件 26件
診療・検査医療機関での検査数 (金曜日に1週間の合計を計上)		前週 1日平均	200件					

【凡例】 ●：接触者特定済、検査完了、健康観察終了
○：接触者特定中、検査中、健康観察中

※上記の()内の検査数は、対応中の事例に関して昨日実施した検査並びに衛生環境研究所及び地域外来・検査センターで実施した検査の件数です。

	L452R変異株PCR検査結果 ^{※1} (R4.1.3以降実施分)				ゲノム解析結果 ^{※2} (R3.3.1以降実施分)			【参考】 L452R陰性事例数 (陽性者数計)
	検査数	L452R 陰性	L452R 陽性	判定不能 ^{※3}	アルファ株 (N601Y変異)	デルタ株 (L452R変異)	オミクロン株 (N501Y変異 E484A変異)	
変異株検査	(22) 124	(22) 122	0	2	144	313	14	54事例(+10) (事例合計168人(+37))

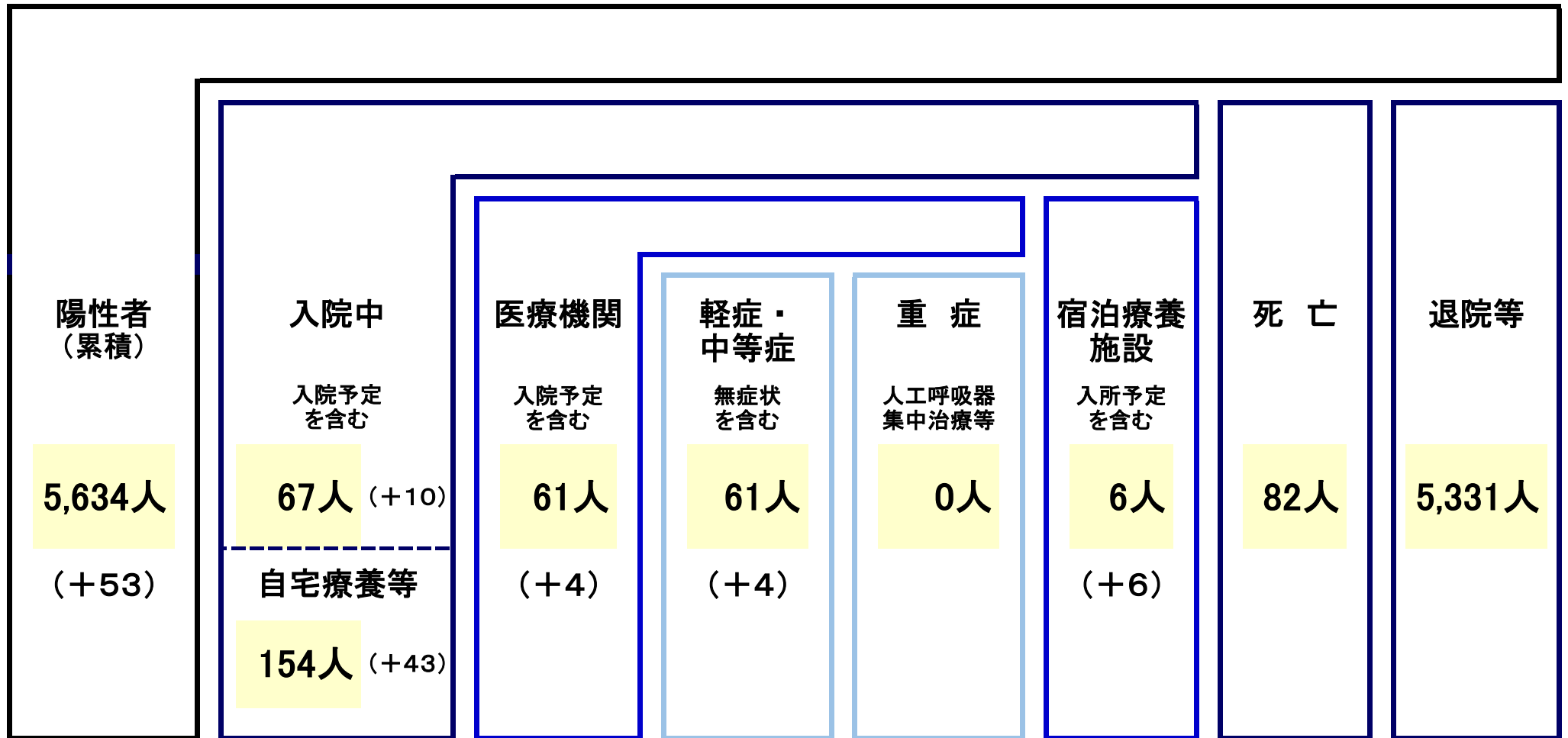
※1 L452R変異株PCR検査は、新型コロナウイルスの陽性が確認された方に対して実施しています。

※2 ゲノム解析結果の「アルファ株」は英国で最初に検出された変異株 (B.1.1.7系統)、「デルタ株」はインドで最初に検出された変異株 (B.1.617.2系統)、「オミクロン株」は南アフリカで最初に検出された変異株 (B.1.1.529系統) として確定された件数を示しています。

※3 「判定不能」は、ウイルス量が少ない等の理由により、変異株であるかどうか判定ができなかった件数を示しています。

県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について

令和4年1月11日 9時現在



○無料検査所の登録状況及び今後の拡充見込み

令和4年1月6日時点

東予	中予	南予	合計
14	9	1	24



令和4年1月11日現在

東予	中予	南予	合計
19	10	2	31

**今後（1月中）40カ所以上の拡充に向け調整中
（東予・中予・南予で拡充の方向）**

「感染警戒期」の新たな要請内容等①

①県民への協力依頼

➤ 会食注意(変更)

○ 大人数、長時間を避けて(全県ルール)

(1テーブル4人まで、テーブル間隔は十分確保、移動なし)

松山市、今治市、宇和島市にお住まいの方やお勤めの方は、

◇ 認証店以外は、「4人以下で、概ね2時間以内」

※ワクチン2回接種者も含めて対象

◇ 認証店は、「全県ルール」を適用

○ 年明け以降、県外往来や、来県者と接触のある方は、
参加は極力控えて

※参加する場合は、無料検査所も活用し、陰性を確認した上で参加

○ 発熱だけでなく、鼻水やのどの痛み、倦怠感や消化器症状
(下痢)など風邪症状のある方は、絶対に出席しない、させない

○ 認証店など、感染対策を徹底されたお店を利用(特に換気の確認)

「感染警戒期」の新たな要請内容等②

会食のルール(認証店と認証店以外の取り扱い)

対象区域	認証店	認証店以外
県全体	大人数、長時間を避けて (1テーブル4人以内、席移動×)	
松山市 今治市 宇和島市	大人数、長時間を 避けて (1テーブル 4人以内、 席移動×)	4人以下 概ね2時間以内

「感染警戒期」の新たな要請内容等③

②事業者への協力依頼

➤ 感染拡大時に備えた業務継続体制の点検・実施(新規)

《県の対応(参考)》

- 今後の感染拡大を見据え、テレワークやオンライン会議、時差出勤を順次拡大
- 特に、職員が普段の生活で感染することもあり得るため、連絡体制や職員欠勤時の業務執行体制を構築
- 時差出勤に合わせて、同一所属内で昼食は時間をずらす
- 昼食時は食べる時間と休む時間を明確に区分
(食事の際は黙食を徹底し、食事中以外は必ずマスクを着用)
- ウレタンマスクではなく、不織布相当のマスクを使用
- 会食は、県民への要請事項に加え、管理職の同時出席は行わない

「感染警戒期」の新たな要請内容等④

《早期の受診のお願い》

- 感染の広がりを阻止するためにも、症状が出たら早期に人との接触を控え、医療機関を受診
- 発熱のほか、鼻水やのどの痛み、倦怠感や消化器症状（下痢等）など、風邪のような軽い症状であっても自己判断せず、医療機関の受診を促す

【医療現場から示された懸念】

- ・鼻水やのどの痛みなどの症状の場合に、風邪ではないかと自己判断して事前に医療機関に連絡せずに直接来院するケース
- ・医療機関で検査を受ける前に会社への報告・了解が必要なため、発症から検査まで時間を要するケース

「感染警戒期」の新たな要請内容等⑤

③福祉施設の面会

- 施設の特性等を踏まえ、施設長の判断のもとで実施(継続)
- 特に高齢者施設においては、陰性証明を確認するなど
感染対策を徹底(新規)

④学校活動(県立学校)

- 児童・生徒が多く集合する形態での行事は、当面見合わせる
- 県外交流は、目的や必要性、訪問先等を勘案して厳選
※感染拡大地域との往来は特に注意
- 練習試合や合同練習は、県内校に限定

「感染警戒期」の新たな要請内容等⑥

⑤ 感染爆発を想定した対応 (順次切り替え)

➤ 保健所の疫学調査の重点化(新規)

- ・今後、管内の感染拡大状況に応じて、保健所ごとに必要な時期に切り替え

【県民の命を守る業務に重点化】

- ①陽性確認の際に最初のコンタクトを迅速に取り、症状などを聞き取って入院の必要性を判断する業務
- ②自宅療養者への直接の健康観察、健康観察業務の委託に関する医師会との調整、必要な場合の外来診療の調整に関する業務

➤ プレスリリース内容の見直し(新規)

- ・事例ごとの詳細な進捗状況の公表の取り止め
- ・無料検査所における検査件数の追加公表(週1回) 等